

## たのしかった1年生、がんばる2年生

1年松組 中井 康晴

ぼくが、1年生でたのしかったことは、うんどうかいと、さつまいもほりです。

小学校では、はじめてのうんどうかいでした。わっしょい玉入れをがんばりました。6年生がかごをかついでくれました。6年生といっしょにでるから、力がわいて、玉を入れることができました。そして、ぎりぎり竹ぐみにかつてうれしかったです。2年生になっても、どんどんがんばって、またかちたいです。

つぎは、がんばったさつまいもほりです。ともだちと土の中をさがして、やっと見つけたさつまいもが、とっても大きくて、ぜんぜんぬけなかったけど、1こはぬけて、うれしかったです。そのさつまいもを、ちょうりいんさんがふかしてくれて、ぼくたちがまるめて、いもきんちゃくにしました。お世話になっている6年生と2年生にもわたしました。「すごくおいしかった」といわれて、がんばってよかったとおもいました。ぼくもたべてみたら、あまくて、おいしかったので、またつくりたいです。



2年生になって、たのしみなことはかん字です。とくに、『分』という字をならうのがたのしみです。なぜかという、と、『分』という字には、右はらいと左はらいがあつて、バランスをとるのがけっこうむずかしいからです。2年生のかん字には、ほかにどんなものがあるのかしらないので、わくわくしてどきどきします。1年生のかん字はたのしかったので、2年生になっても、たくさんれんしゅうしたいです。そして、はなまるをたくさんとりたいたいです。

さいごに、ぼくは、大すきなかん字を、あたらしい1年生におしえてあげたいです。いっしょにべんきょうできるのが、とてもたのしみです。

## がんばったことはっぴょう

1年竹組 鈴村 優葉

わたしが、1年生で1ばんがんばったことは、学しゅうはっぴょうかいです。わたしのせりふは、「やった、まきものにまた文字が出てきたよ」です。れんしゅうのとき、大きなこえでいえなかったり、まっているとき、どうしてもうしろを見たくて、うしろをむいてしまったりしました。

Aちゃんと、できなくてくやしいので、クラスのみんなとれんしゅうをいっぱいしました。Bさんは、さいしょから大きなこえでいえていたから、すごかったです。わたしも、さいごのれんしゅうの日、ちゃんとできるようになっていて、うれしかったです。

2年生になったら、このけいけんをいかして、きょう



しつではっぴょうするとき、へんじのこえを大きくしたり、また、学しゅうはっぴょうかいをやるときには、さいしょから大きなこえでいえるようになりたいです。

## 5年生でがんばったこと

5年松組 山路 晴菜

私がかんばったことは2つあります。1つ目は算数です。私は算数が苦手で、よく分からずに授業を受けていました。そして、わからないままテストを受けていたから、100点をとることがあまりありませんでした。こんな自分が格好悪くて、担任の先生にたずねたり、通級教室の「算数の教室」に2ヶ月くらい通ったりしました。そのおかげで、理解することができ、テストで、前よりも100点をとることが多くなりました。そのことから、理解するまで復習することの大切さを知りました。

2つ目は家庭科です。家庭科では、飯田先生は何を作っても完ぺきで、私の物とは比べ物にならないくらい上手でした。先生は、「エプロンづくりは、とても簡単です」と言っていたけれど、ミシンがむずかしく苦戦しました。糸をおろすところを、おとさずに進んでしまっただけで失敗してしまいました。その失敗を生かして、次はしんちょうに、気をつけたら、先生みたいに上手にできました。

私には、この1年を通して分かったことがあります。木を自分にたとえると、木の幹が自分で、木の葉は自分の努力のことだと思います。自分ができないことを、あきらめずにがんばった力は、決してうら切らず、成功の葉へとつながっているといます。このことが分かった今、6年になっても、自分を信じて努力をし、勇気をもって前へ進もうと思います。そして、たくさんの葉をつけた大木になりたいです。



## がんばったから学んだこと

5年竹組 榊原 愛梨

わたしが5年生でがんばったことは、3つあります。

1つ目は野外活動で協力したことです。野外活動を通して『きずな』をより深めることができました。また、ハイキングで仲間と協力することの大切さを学ぶことができました。中でも問題を解くときに、だれ1人として1人ぼっちにならずに楽しむことができました。その時わたしは、「1人でやるよりもみんなで作る方が楽しい」ということに気がつきました。大変なこともあったけれど、みんなが協力しながら進んでいく姿を見て、みんなと協力することが一番大切だと気がつきました。

2つ目は、いろいろなことにチャレンジしたことです。今年、通学班の班長や、前期児童会役員選挙のすいせん者、学習発表会のピアノのオーディションなどにチャレンジしま

した。結果に関係なく「チャレンジしてみよう」「がんばってみよう」などの気持ちが大切なんだということが分かりました。「どうせダメなんだから」「やってみても意味がない」といってチャレンジしなければ何も進みません。例えば通学班の班長のとき、初めてでどうすればよいのか分からなかったけれど、班の子が「こうすればいいんじゃない?」「ああすればいいとおもうよ」と提案してくれました。大変だったけれど、まわりの方が支えてくれたので、今はよい思い出としてのこっています。このように、どんなに大変でも、仲間と助け合えば何でも乗り越えられます。わたしはこれからも、どんどんいろんなことにチャレンジしようと思いました。

3つ目は、委員会活動です。5年生になり委員会活動が始まりました。はじめは大変だったけれど、だんだん慣れていき、今では生き物を大切にしない子に注意できるようになりました。それができたのは、6年生のみなさんが教えてくれたからです。来年は、わたし



したち5年生が、今の4年生に教える番なので、6年生のように丁寧にきちんと教えられようになりたいです。

そして、今年発見した協力することの大切さ、楽しさ、1人でやるよりもみんなと一っしょにやった方が楽しいこと、何ごとにもチャレンジすることを大切に、みんなから「あんな6年生になりたい」と言われるような立派な6年生になりたいです。そして、桜小学校のリーダーとして、桜小学校のよいところ、伝統をうけつぎ、みんなが楽しく学べ、だれ1人仲間はずれにならないような桜小学校にしていきたいです。

6年生みたいに・・・いや、6年生よりももっといい学年にし、桜小学校をつくっていきたいです。